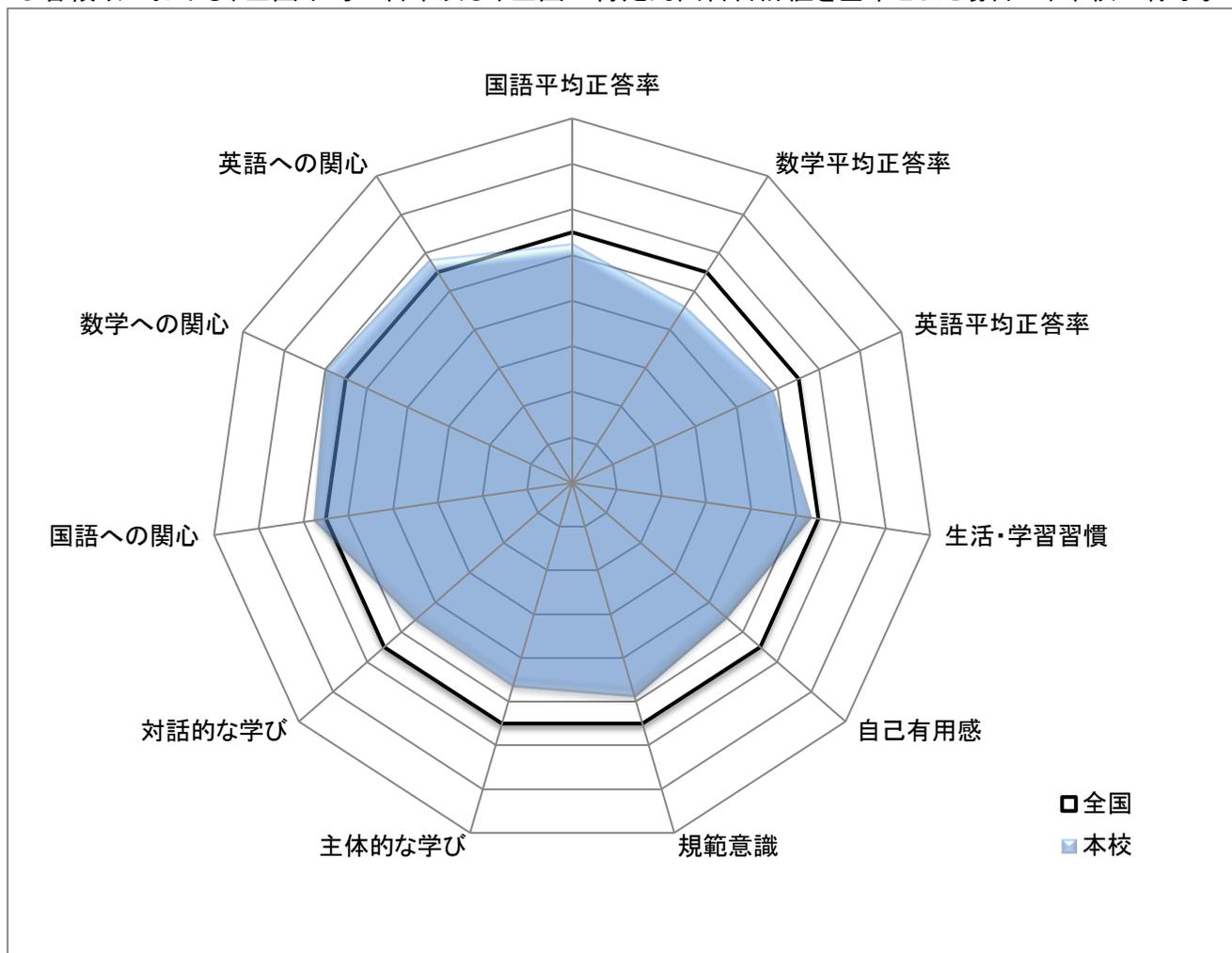


●各領域における、全国平均正答率及び、全国の肯定的回答合計値を基準とした場合の、本校の様子。



《現状把握》

・国語の書くこと、書く能力や数学の図形、英語の聞くこと、外国語理解の能力に高い数値が出ています。特に英語は、ほぼオールイングリッシュの授業で鍛えられています。  
 ・生徒は落ち着いて授業を受けています。その雰囲気は、朝礼や避難訓練に整然と集合する様子からも知ることが出来ます。さらに、学芸発表会の合唱で生徒が一丸となって大きな歌声を披露したことに現れています。

《授業改善のポイント》

・各教科への意欲が高く授業は落ち着いて行われています。意欲が高い生徒の知識・理解の質を高め資質や能力を育む「主体的・対話的で深い学び」を目指します。そのためには、授業の創意工夫や教科書、教材等の活用改善に努めます。  
 ・基礎的な知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力に基づく問題を解決する能力を確実に身に付けさせるため、「授業のねらい」を絞り、生徒に「わかった」「できた」という実感をもたせられるように、指導方法を組み立てていくことを目指しています。

《チャートの特徴》

グラフからも読み取れるように、各教科への関心が高く、教科の勉強が好きですかとの問いに、肯定的に答えた生徒は、国語87.9% (全国61.7%)、数学62.4% (57.9%)、英語58.4% (56.0%)と各教科の勉強に強い関心をもっています。なお、「生活・学習習慣」に比べて「対話的な学び」「主体的な学び」「規範意識」「自己有用感」では全国平均を下回っていますが、落ち着いた授業が行われています。

《家庭・地域への働きかけ》

「瑞三文武両道8か条」を策定しています。  
 ①しっかりと朝食を摂る。②決まった時間に排便する。③余裕をもって登校する。④授業に集中する。⑤適度に運動する。⑥毎日2時間勉強する。⑦毎日お風呂に入る。⑧しっかりと睡眠をとる。を守ることを働きかけています。